

令和 2 年度入学試験

沖縄県立芸術大学
音楽学部

問題解答例

入試問題例

《試験科目 目次》

* 一般入試

	問題	解答
楽典（音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学コース）	1	2
楽典（音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻）	3	4
聴音	5	—
新曲視唱	6	—
作曲実技	7	—
小論文（音楽文化専攻）	8	—
小論文（琉球芸能専攻社会人入試）	9	—
初見視唱	11	—

* 推薦入試

	問題	解答
楽典（音楽表現専攻(※注)）	12	13
楽典（音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻）	14	15
聴音	16	—
新曲視唱	17	—
初見視唱	18	—

※注：作曲理論コースを除く

I 右の楽譜は、チャイコフスキー作曲《交響曲第6番》からの抜粋です。以下の設問に答えなさい。

1. 1) 2段目までの調をドイツ語で答えなさい。
- 2) 上記の調の音階を書きなさい。(短調の場合、旋律短音階で書くこと)
3. 冒頭の速度標語の意味を答えなさい。
4. 冒頭4小節の旋律は Viola によって演奏されます。アルト譜表に書き直しなさい。
5. A ~ F の和音の種類を以下から選択して、記号で答えなさい。

(ア)長三和音 (イ)短三和音 (ウ)増三和音 (エ)減三和音
(オ)属七の和音 (カ)減七の和音 (キ)短七の和音

5. ① ~ ⑨ の音程を例に倣って答えなさい。(複音程は単音程に直すこと)

9. 1) 部分 X を支配する調をドイツ語で答えなさい。

- 2) 部分 X の調の主要三和音を解答用紙に指定された譜表に調号を用いて全音符で書き、和音記号も下に書きなさい。

7. 冒頭 * 印から最後にある * 印までを J = 116 のテンポで演奏した時の計算式と所要時間を答えなさい。
い。(ただし、演奏によるテンポの変化は無いものとする)

II. 次の楽語の意味を答えなさい。

- 1) pesante 2) L'istesso tempo 3) con fuoco 4) giocoso 5) ritmico

Allegro non troppo (J = 116)

The musical score is for the first movement of Tchaikovsky's Symphony No. 6, 'Pathétique'. It is in 4/4 time and D major. The tempo is marked 'Allegro non troppo (J = 116)'. The score is divided into sections A, B, C, D, E, F, and G. Section A is marked with a 'p' (piano) dynamic. Section B is marked with a 'p' (piano) dynamic. Section C is marked with a 'p' (piano) dynamic. Section D is marked with a 'p' (piano) dynamic. Section E is marked with a 'p' (piano) dynamic. Section F is marked with a 'p' (piano) dynamic. Section G is marked with a 'p' (piano) dynamic. The score includes various musical notations such as notes, rests, and dynamics.

令和2年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般入学試験

科目名： 楽 典 (解答用紙)

受験番号

I

1.	1)	2)				
	h-moll					
2.	Allegro non troppo = あまり速すぎず					
3.						
4.	A ア	B カ	C イ	D エ	E カ	F ア
5.	例 長2度	① 完全5度	② 短6度	③ 長3度	④ 完全4度	
	⑤ 増2度	⑥ 長2度	⑦ 増4度	⑧ 短2度	⑨ 完全5度	
6.	1) d-moll					
	2)					
	主和音		下屬和音		属和音	
	和音記号 (I)		(IV)		(V)	
7.	計算式				所要時間	
	(14×4+2)×60÷116=30				30 秒	

II

1) pesante	重々しく
2) L'istesso tempo	同じ速さで
3) con fuoco	熱情をもって、熱烈に
4) giocoso	おどけて、楽しく、陽気な
5) ritmico	リズムを正確に

科目名：楽典 専攻名・コース名：音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻

1. 次の楽譜は、團伊玖磨作曲《花の街》の旋律である。次の(1)～(6)の問いに答えなさい。

か

Moderato *mp*

あ

き

mf crescendo

く

い

f

う

- (1) この曲は、何拍子か。次の中から選びなさい。
8分の2拍子 4分の2拍子 4分の3拍子 8分の6拍子 4分の4拍子
- (2) この曲は、何調か。次の中から選びなさい。
変ロ長調 へ短調 ト長調 ニ短調 へ長調
- (3) あ、い、う の音程はそれぞれ何度か。解答用紙の例のように答えなさい。
- (4) か、き、く の記号の名前と意味を答えなさい。
- (5) この曲を $J=80$ の速度で演奏すると、全曲演奏するにはおおよそどのくらいの時間がかかるか。計算式を書いた上で、時間を答えなさい。(演奏上の速度の変化は無視すること)
- (6) この楽譜の3段目(12小節目から17小節目まで)を全音低い調に移調し、解答用紙の五線に書きなさい。その際、ト音記号と調号を書き入れること。

2. 次の(1)～(2)の問いに答えなさい。

- (1) 解答用紙の五線に、次の音階の上行形を、全音符で臨時記号を使って書きなさい。
ア ト長調 イ ロ短調 (和声的短音階)
- (2) 解答用紙の五線に、次のコードネームが示す和音を、全音符で臨時記号を使って書きなさい。
ア Am イ G ウ C7 エ D オ Cm
3. 次の(1)～(9)の問いの中から、5つだけを選んで答えなさい。なお、選んだ問いの番号5つを解答用紙の()に書くこと。
- (1) へ長調の平行調は何調か。
- (2) *rit.* を省略せずにアルファベットで書き、読みと意味を答えなさい。
- (3) 次の中から、4分音符の長さに等しい音符の組み合わせを選び、記号で答えなさい。
ア 付点4分音符+8分音符 イ 2分音符+8分音符
ウ 全音符+16分音符 エ 16分音符+付点8分音符
- (4) 次の中から、反復記号を一つ選んで答えなさい。
D.C. Andante a tempo legato decrescendo
- (5) 次の中から、沖縄の伝統芸能を一つ選んで答えなさい。
歌舞伎 京劇 組踊 雅楽 文楽
- (6) 三線の二揚調子において、中絃をG(ト音)とすると、女絃はどの高さの音になるか。音名で答えなさい。
- (7) 三線の本調子において、男絃と中絃の音程は何度か。1(3)の例のように答えなさい。
- (8) 次の中から、琉球等曲の器楽曲の曲名を一つ選んで答えなさい。
かぎやで風節 執心鐘入 上り口説 御座楽 六段音境
- (9) 女踊り「伊野波節」で用いられる曲名(節名)をすべて答えなさい。

科目名：楽典（解答用紙）

受験番号

1.

(1) 4分の2拍子 (2) へ長調

(3) [例] 短7度

あ 完全5度 い 短2度 う 長2度

(4) か 名前 モデラート 意味 中ぐらいの速さで

き 名前 クレシエンド 意味 だんだん強く

く 名前 メzzo・ピアノ 意味 少し弱く

(5)

計算式

$$60 \div 80 \times 2 \times 2 = 33$$

33 秒

(6)



(演奏上の記号等は無くてもよい)

2.

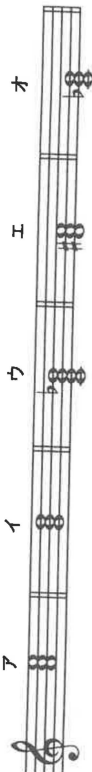
(1) ア



イ



(2)



3.

(1) イ短調

(2) *ritardando* リタルダンド だんだん遅く

(3) エ

(4) *D.C.*

(5) 組踊

(6) C (ハ音)

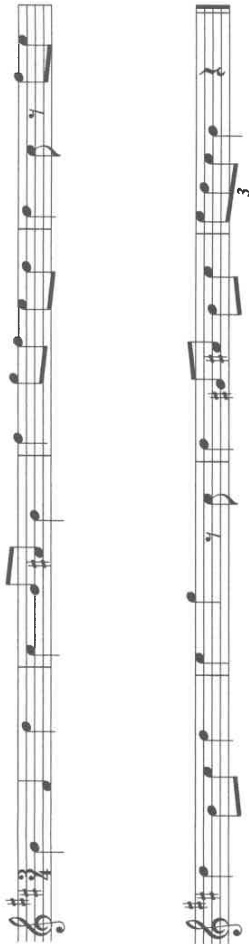
(7) 完全4度

(8) 六段音階

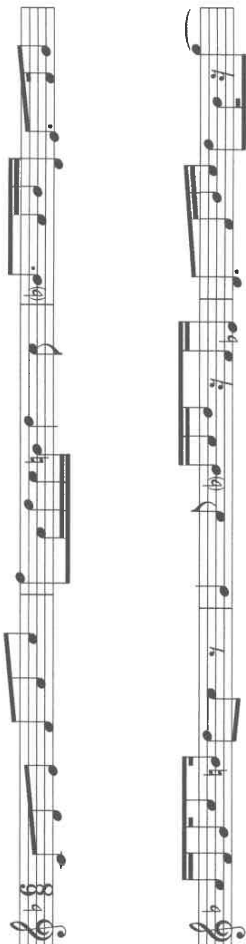
(9) 伊野波節、恩納節、長恩納節

聴音

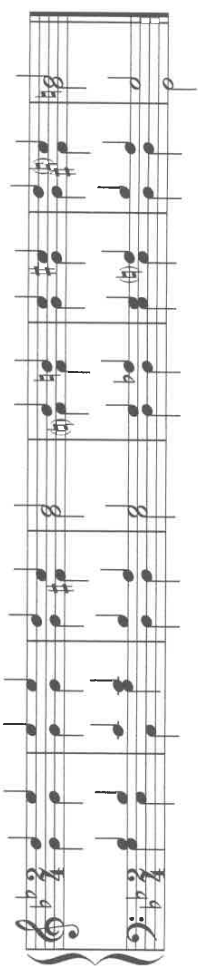
h - moll 8小節 4分の3拍子



F - dur 8小節 8分の6拍子



四声体和声 g - moll 4分の2拍子 8小節



令和2年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般入学試験

科目名：聴音

専攻・コース名：音楽表現専攻、音楽学コース

① 旋律 h - moll 4分の3拍子 8小節

実施方法

主和音と拍子

通奏1回

前半4小節、3回

通奏1回

後半4小節、3回

通奏1回

② 旋律 F - dur 8分の6拍子 8小節

実施方法

主和音と拍子

通奏1回

前半4小節、3回

通奏1回

後半4小節、3回

通奏1回

③ 四声体和声 g - moll 4分の2拍子 8小節

実施方法

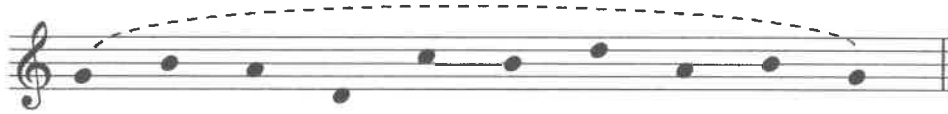
主和音と拍子

通奏7回

科目名： 新曲視唱

専攻・コース名： 声楽・弦楽・管打楽・音楽学コース

1. 次のフレーズを**音程を付けずに**素早くド・レ・ミ…で読みなさい。



2. 次の旋律の**調の主和音**と**曲の開始音**をピアノで弾いてから予見しなさい。（制限時間：1分30秒）

3. 予見し終わったら、再び**主和音**と**曲の開始音**をピアノで弾き確かめてから歌いなさい。



次の和声課題を四声体で実施しなさい。

1. バス課題

The first system of the bass exercise consists of four measures. The key signature is two flats (B-flat and E-flat) and the time signature is 8/8. The melodic line is in the bass clef. The notes are: G2 (quarter), F2 (quarter), E2 (quarter), D2 (quarter), C2 (half), B1 (half), A1 (half), G1 (half). The second system consists of four measures. The notes are: F2 (quarter), E2 (quarter), D2 (quarter), C2 (quarter), B1 (half), A1 (half), G1 (half), F1 (half). The third system consists of two measures. The notes are: E2 (quarter), D2 (quarter), C2 (quarter), B1 (quarter), A1 (half), G1 (half).

2. ソプラノ課題

The first system of the soprano exercise consists of four measures. The key signature is one sharp (F-sharp) and the time signature is common time (C). The melodic line is in the treble clef. The notes are: G4 (quarter), A4 (quarter), B4 (quarter), C5 (quarter), B4 (half), A4 (half), G4 (half), F4 (half). The second system consists of four measures. The notes are: E4 (quarter), D4 (quarter), C4 (quarter), B3 (quarter), A3 (half), G3 (half), F3 (half), E3 (half).

令和二年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般入学試験

科目名：小論文 専攻名・コース名：音楽文化専攻 沖縄文化コース・音楽学コース

問一 課題図書各章の中から、あなたが興味を持った章を一つ選び、その概要を説明しなさい。(二〇〇～三〇〇字程度)

問二 問一に対して、あなたの考える音楽との「つきあい方」を論じなさい。(八〇〇字程度)

課題図書 岡田暁生『音楽と出会う 二一世紀的つきあい方』(世界思想社、二〇一九)

科目名：小論文 専攻名：コース名：琉球芸能専攻

次の文は、池宮正治「冠船芸能の変遷」の最初と最後の節である。文章を読んで、以下の問題に答えなさい。

一 冠船芸能とは何か

「冠船」というのは、いうまでもないことだが、琉球国王の即位を認めて王に冠（皮弁冠）と服（皮弁服）をもたらし、先王の霊を祀るために中国皇帝が派遣する使者の乗った船のことである。中国側はその使者を普通「冊封使」といい、その船を封舟といった。「冠船」または「御冠船」は琉球側の呼び名である。

察度の子武寧の冊封（一四〇四年）から最後の尚泰の冊封（一八六六年）まで、二二回中国（明・清）皇帝からの冊封を受けている。内容が窺えるのは、一五三四年尚清の時来琉した陳侃・高澄の時からで、冊封正使副使はそれぞれ頭号、二号の二隻の封舟に乗って、福建から出発した。守備の兵員二〇〇名と合わせて、総員五〇〇名前後の人々が、五、六ヶ月滞在し、時には一七一九年尚敬王の冊封のために来琉した海玉・徐葆光の如き、八ヶ月に及んで滞在する場合もあった。

冊封は、言わば中国の冊封体制に入ることによって、中国との朝貢貿易の利を得ることが出来、合わせて国際社会の一員として認知されることによって国家としての国際的な地位を獲得できるうえに、文化文物を摂取できるなど、計り知れないメリットがあり、したがって歴代王統は、中国との緊密な関係を保つことに努力している。それ故にわば一世一代の冊封使の来琉はまさに国家的な行事であって、何年も前から周到な準備をして迎え、国王主催の宴をしばしば催して歌舞音曲を提供し酒肴を供えて、遠来の客の無聊を慰めている。そして一六八三年に来琉した汪楫・林麟焄の冊封以後は、王の主催の宴が七つの大宴に固まり、これが若干の手直しをされながら、最後の冊封まで受け継がれる。

冊封使は、七つの大宴いわば儀礼のほか、これに答える中国側の宴会もあった。中国側は琉球の貴紳のほか文人との交流のために、文人や詩人、書家などを携行するほか、楽人や俳優を携行することもあった。第一宴である先王の霊を慰める「先王の論祭」の他は、楽や芸能が提供され、その答礼の宴、その間の小宴、さらに滞在中の中国の従者について芸能を習得するなど、相互に芸能の細かな交流があった。こうした芸能の交流が、その後の琉球の芸能に大きな影響を与えたことは、間違いない。それにしても、その芸能はどういう芸能であったのか。実のところはつきりせず、まずこの点を明らかにしなければならない。さらにもう

一つは、今日の琉舞は、この冠船芸能を受け継いでいると喧伝され信じられてきていることである。これは、単純に計算しても二一年に一回しかない冊封のために、琉球の芸能があったとは、論理的に考えられないことである。つまり冊封使来琉は臨時のものであって、琉球の芸能そのものが、そのためにだけあったとは到底思えない。というのは、芸能は基本的には年間の民俗的なサイクルのなかに育まれているはずで、それらを冠船芸能に盛り込んだと考えるのが順当である。後述するように、実際七月一日の中元を中心とする芸能が全琉的に賑々しく行われていたらしいし、また年忌にも盛大に芸能を提供したらしい。当然国家の祝儀や国王の慶賀、さらには個人の祝いにも芸能が供されたことは、考え得ることである。

今日例えば、若衆・二才・女・老人踊りの各踊りは、冠船踊りのなかで、どのように位置づけられ、変遷してきているのか、これを辿ることによって我々は冠船芸能を知ることができる。と同時に、今日のいわゆる「古典芸能」としての琉球舞踊を知ることができるのである。我々は何をどのように伝承し、何を忘失したのか。冠船芸能を追求することによって、我々は多くの情報を得ることができるのである。

（中略）

一六 冠船芸能の展開

冠船芸能という、我々は琉球舞踊や組踊に注目しがちだが、その周りには中国の芸能もあった。厳かな国家行事である論祭や冊封など儀礼に楽は欠かせない。勿論中国側も楽人を携行してきているので、答礼の時にそれを演じている。しかし王府主催の儀礼には琉球側から楽が奏される。したがって、王府は、冊封使来琉の二年ないし五年位前に、「楽稽古奉行」を任命してこれに備えている。これが冊封使の行列や江戸上りの際の路次楽や座楽に転用される。また国王の進退にもこうした楽が使われた。

中国の楽や演劇が身近であったということは、組踊のなかにも、それと分かれぬほどにスマートに影響している。能の影響を受けながら能と異なる様式を確立した組踊には、能の特徴である二段夢幻的な手法はまったく取り入れられていない。それは中国演劇の影響があったからである。中国演劇は大体時計回りだからである。また朝薫の作品に顕著にみられる、台詞部分の古典音楽による歌いと、役割によって異なる唱え、これは中国でいう「唱」と「念」からヒントを得たものであろう。そして「組踊」は、様式が固まると、冠船芸能の最も重要な出し物となり、以後しきりに作られるようになる。まさに「組踊」こそは冠船芸能の申し子であるといつてよい。それにしても、朝薫の五組が、若干封建的な解釈を加えているといえ「銘子」や「女物狂」「執心鐘入」などを持っていたのに、その後この方面をまったく

展開させえなかったのは惜しまれる。「孝行之巻」や「二童敵討」といった、つまり「孝」や「忠」といった封建道徳を核にした組踊に熱中したのは、まさに王府管掌の芸能の限界であったと言わなければならない。

冊封は、国王の一世一代の盛典である。そのための費用は、そうでなくても貧しい琉球に大いに負担となった。従者が持ち渡った品物を買収し取らなくてはならない。その評価（ハンガー）をめぐる紛糾することもある。財政的な裏付けがなく、全琉の地方役人から金品を集め、それでも足りず百姓（町人）からも借り上げと称して金を集め、高額者には家譜を支給した。そうした苦しい対応ではあったが、琉球の芸能を舞台芸として大いに発展洗練させた。冊封使歓待の芸能は、長い伝統に根ざした保守的な場でもあったが、また毎回新しい趣向を凝らす革新の場でもあった。町人が発達せず、自由な民間の舞台がなかった琉球社会では、王府管掌のこうした芸能が、もっとも高い洗練された芸能を保証する場だったのである。初めは上級の弟子がその芸能を担い、近世の末期には、下級の士族がそれを担うようになって、本来の意味の専門家が出来るようになり、近代を迎える。しかしもともと冊封使歓待の必要から生まれた芸能は、近代になると、その意義を失って、急速に衰退して忘れ去られてしまう。特に中国芸能は、原形を留めない程に破損した形で若干残存している程度だが、これなど衰弱が一段と激しかった。それに若衆踊りも殆ど失われている。女踊り・二才踊りそれに組踊も、全体としては、現在の見せ掛けの繁栄は別として、衰えていることに変わりはない。そして近代の嗜好のフルイにかけられて、その一部が今日に伝えられているに過ぎない。

近世の琉球の芸能は、言うまでもなく、冠船芸能としてのみ存在していたのではない。組踊だけはまさしく冠船芸能だったわけだが、古典芸能はその一部が冠船芸能として取られたのである。冠船芸能の背景には、それまで発達洗練していた琉球芸能や中国芸能あるいは大和芸能があった。しかしその他に、本論ではまったく議論しなかったが、王宮の芸能の母体とも言えるべき、村落共同体の芸能が上昇したことも指摘しなければならない。また洗練された芸能が村落に流布するという下降の構図もあったはずである。いわば、近世琉球の芸能のありようを全体として把握した上で、冠船芸能を位置づけないならならぬことは、言うまでもないことである。

池宮正治「冠船芸能の変遷」(島村幸一編『池宮正治著作選集2 琉球芸能総論』笠間書院、2015年、pp.19-21,49,50)

問1. 課題文を参考に「冠船芸能」の成立背景を200字以内で説明しなさい。なお、「冊封」「首里王府」という語句を用いて説明すること。

問2. あなたは、琉球沖縄の芸能の特徴はなんであると考えるか、課題文を参考に800字以内でまとめなさい。

組踊「執心鐘入」

① 若松

二十日夜の暗さ

道迷てをたん、

御情の宿に

しばし休ま。

② 女

まれの御行合さらめ

あまく片時も

起きれきれ、里よ

語らひぼしやの。

③ 若松

御縁てす知らぬ

恋の道知らぬ、

しばし待ちかねる

夜明け白雲。

④ 小僧二

頭まるめても

慈悲知らぬものや、

石か朝夕さの

薪木ごころ。

科目名: 楽典 専攻名・コース名: 音楽表現専攻

I. 右側の楽譜はモーツァルト作曲《交響曲第35番》からの抜粋です。以下の設問に答えなさい。

1. ①～③の2音間の音程を楽譜冒頭の例に倣って答えなさい（複音程は単音程に直すこと）。
2. a～eの和音の種類を以下から選択して、その記号を答えなさい。
(ア)長三和音 (イ)短三和音 (ウ)増三和音 (エ)減三和音
(オ)属七の和音 (カ)減七の和音 (キ)短七の和音
3. a, cの和音を含む調名を、解答欄の例に倣ってすべて答えなさい。（短調は和声短音階に限る）
4. 1) A部分を支配する調をドイツ語で答えなさい。
2) A部分の調の主要三和音を解答用紙に指定された譜表に調号を用いて全音符で書き、和音記号も下に書きなさい。
5. 冒頭から最下段☆のある小節部分までを♩=120のテンポで演奏した時の計算式と所要時間を答えなさい。（ただし、演奏によるテンポの変化は無いものとする）

II. 次の楽語の意味を答えなさい。

con spirito, brillante, pietoso, feroce, sostenuto,

The image shows a musical score for Mozart's Symphony No. 35, measures 1 through 10. The score is in G major (one sharp) and 4/4 time. It includes various musical notations such as notes, rests, dynamics (p, f), and articulation marks. Specific measures are labeled with letters a, b, c, d, e, and a star symbol. Measure 1 is marked '例' (example). Measure 2 has a circled '2'. Measure 3 has a circled '3'. Measure 4 has a circled '4'. Measure 5 has a circled '5'. Measure 6 has a circled '6'. Measure 7 has a circled '7'. Measure 8 has a circled '8'. Measure 9 has a circled '9'. Measure 10 has a circled '10'. The score is written for piano and includes a variety of musical symbols and notation.

令和2年度沖縄県立芸術大学音楽学部推薦入学試験

科目名: 楽典 (解答用紙)

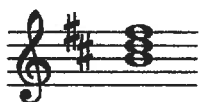
受験番号

I

1.	例 完全8度	① 長3度	② 長6度
	③ 増2度	④ 短3度	⑤ 増1度
	⑥ 長7度	⑦ 完全5度	⑧ 増4度

2.	a ア	b カ	c イ	d カ	e オ
----	-----	-----	-----	-----	-----

3.	例 	c-moll, f-moll, As-dur, Es-dur, Des-dur
	a	G-dur, D-dur, A-dur, g-moll, fis-moll
	c	h-moll, D-dur, fis-moll, A-dur, G-dur

4.	1) h-moll
	2) 主和音 下屬和音 属和音
	  
	和音記号 (I) (IV) (V)

5.	計算式 $34 \times 4 \times 60 \div 120 = 68$	所要時間 68 秒
----	---	-----------

II

con spirito	元気に
brillante	はなやかに、活発な
pietoso	あわれみをもって
feroce	野生的に激しく、粗野に
sostenuto	各音を十分に保持して

科目名：楽典 専攻名・コース名：音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻

1. 次の楽譜は、岡野貞一作曲《ふるさと》の旋律である。次の(1)～(7)の問いに答えなさい。

- (1) この曲は、何拍子か。次の中から選びなさい。
8分の6拍子 4分の3拍子 2分の3拍子 8分の2拍子 4分の4拍子
- (2) この曲は、何調か。次の中から選びなさい。
イ短調 へ長調 ト長調 ホ短調 へ短調
- (3) あ、い の音程はそれぞれ何度か。解答用紙の例のように答えなさい。
- (4) か、き の記号の名前と意味を答えなさい。
- (5) この曲の さ、し、す の部分に最もふさわしい和音を次のア～ウの中から選び、記号で答えなさい。また、そのコードネームを選んで答えなさい。

和音

ア	イ	ウ
コードネーム：C、F、B ^b 、C ^m		

(6) この曲を ♩=80 の速度で演奏すると、全曲演奏するにはおよそどのくらいの時間がかかるか。計算式を書いた上で、時間を答えなさい。(演奏上の速度の変化は無視すること)

(7) この楽譜の3段目(9小節目から12小節目まで)を全音高い調に移調し、解答用紙の五線に書きなさい。その際、ト音記号と調号を書き入れること。

2. 次の(1)～(2)の問いに答えなさい。

(1) 解答用紙の五線に、次の音階の上行形を、全音符で臨時記号を使って書きなさい。

ア ト短調 (和声的短音階) イ イ長調

(2) C音をもとにしたドミナント・セブンス・コードについて、C音以外の三つの音名を答えなさい。

3. 次の(1)～(9)の問いの中から、5つだけを選んで答えなさい。なお、選んだ問の番号5つを解答用紙の()に書くこと。

(1) 和声的短音階以外の二種類の短音階の名前を答えなさい。

(2) 次の中から、2分音符の長さに等しい音符の組み合わせを選び、記号で答えなさい。

ア 4分音符+8分音符 イ 付点4分音符+16分音符
ウ 全音符+4分音符 エ 8分音符+付点4分音符

(3) 次の中から、*decrescendo*と同じ意味の用語を選び、読みと意味を書きなさい。

crescendo *accelerando* *ritardando* *legato* *diminuendo*

(4) 次の三つの音を含む長調を答えなさい。

F[#]、C、G

(5) 次の中から、沖縄の民謡を一つ選んで答えなさい。

こきりこ節 アリラン 谷茶前節 こんびら船々 ソーラン節

(6) 三線の本調子において、男絃をC(ハ音)とすると、中絃はどの高さの音になるか。音名で答えなさい。

(7) 三線の二揚調子において、中絃と女絃の音程は何度か。1(3)の例のように答えなさい。

(8) 琉球箏曲の本調子において、1オクターヴの関係になる絃の組み合わせはどれか。次の中から選んで答えなさい。

四と五 二と六 四と七 三と八 十と巾

(9) 女踊り「かせかけ」で用いられる曲名(節名)を二つ答えなさい。

科目名：楽典（解答用紙）

受験番号

1. (1) 4分の3拍子 (2) へ長調
- (3) [例] 短7度
- あ 完全5度 い 短3度
- (4) か 名前 メッゾ・フォルテ 意味 少し強く
- き 名前 クレシェンド 意味 だんだん強く
- (5) さ 和音 イ コードネーム B^b
- し 和音 ウ コードネーム F
- す 和音 ア コードネーム C

$$60 \div 80 \times 3 \times 16 = 36$$

36 秒

(7)



(演奏上の記号等は無くてもよい)

2.

(1)



イ



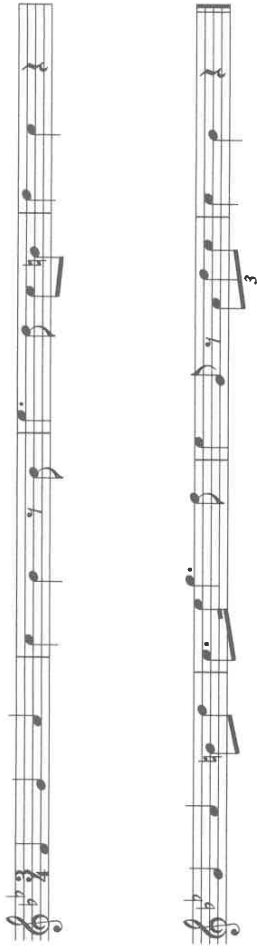
(2)

E、G、B^b

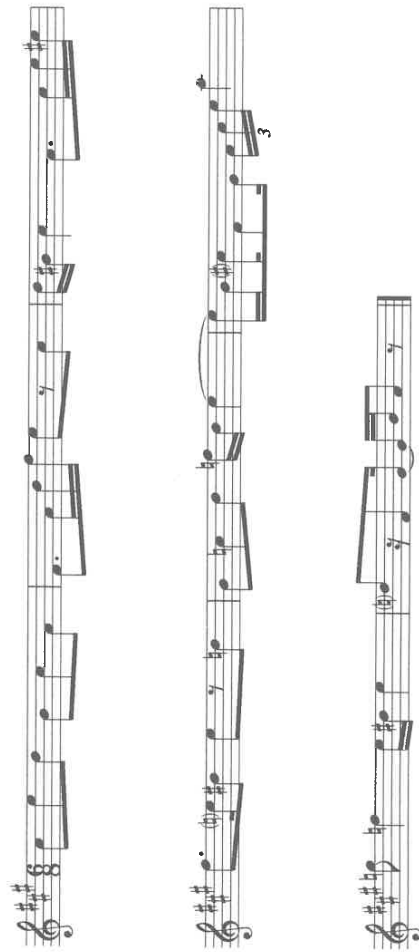
3.

- (1) 旋律的短音階、自然的短音階
- (2) エ
- (3) デイミヌエンド、だんだん弱く
- (4) ト長調
- (5) 谷来前節
- (6) F (へ音)
- (7) 完全4度
- (8) 三と八
- (9) 干瀬節、七尺節 (さあさあ節も可)

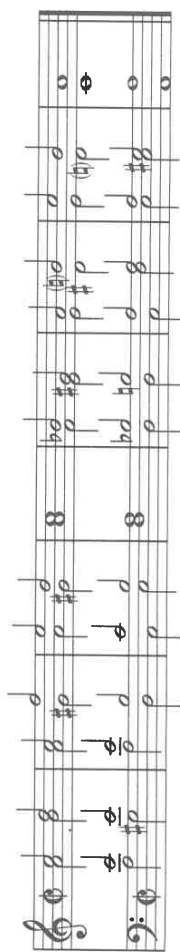
B-dur 8小節 4分の3拍子



A-dur 8小節 8分の6拍子



四声体和声 a-moll 2分の2拍子 8小節



科目名：聴音

令和2年度沖縄県立芸術大学音楽学部 推薦入学試験

専攻・コース名：音楽表現専攻、音楽学コース

① 旋律 B-dur 4分の3拍子 8小節
実施方法

主和音と拍子

通奏1回

前半4小節、3回

通奏1回

後半4小節、3回

通奏1回

② 旋律 A-dur 8分の6拍子 8小節
実施方法

主和音と拍子

通奏1回

前半4小節、3回

通奏1回

後半4小節、3回

通奏1回

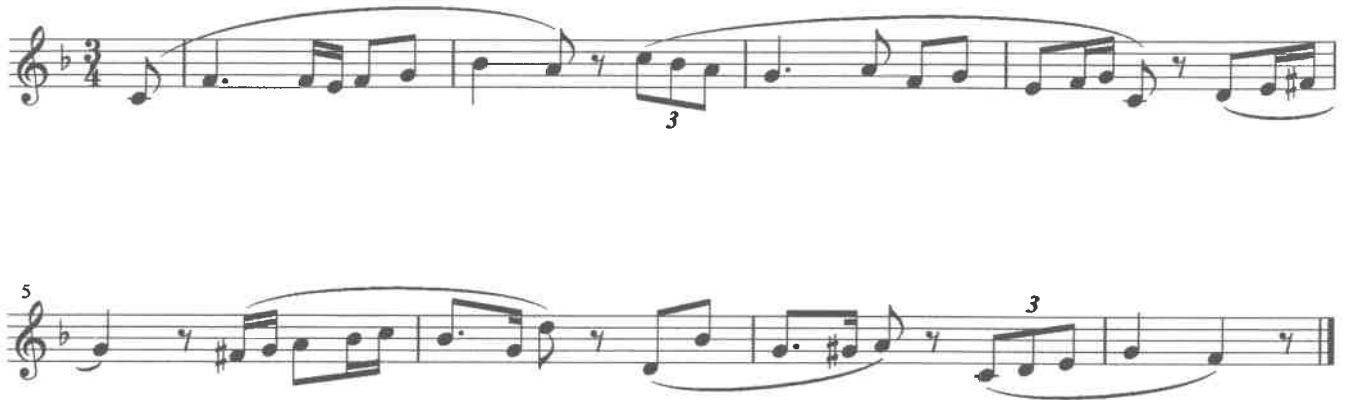
③ 四声体和声 a-moll 2分の2拍子 8小節
実施方法

主和音と拍子

通奏7回

新曲視唱(声楽・弦楽・管打楽・音楽学コース)

- ・最初にピアノで、主和音と開始音を弾いてから予見しなさい。(予見時間は1分30秒)
- ・歌う前に、再度ピアノで主和音と開始音を弾いてから歌い始めなさい。



組踊「執心鐘入」

若松詞

露でやんす花に

宿かゆる浮世

慈悲よ御情に

からち給うれ

女詞

親の留守なかに

宿からち置て

与所知れて我ぬや

浮名立ちゆめ

若松詞

悪縁や袖に

結ばはんばからひ

我身や首里みやだいいり

やてど行きゆる

小僧(一)詞

やかれよも座主が

かじめたる若衆

留守ならば互に

語る嬉しや